

17日閣僚会の通報団がいた、岸田文雄政権が検討を進めてくる「敵基地攻撃能力」保有の問題が焦点の一つになります。「敵基地攻撃」に關し安倍晋三元首相が「報復のための打撃力」を持つことを主張するなど、危険な狙いが浮き彫りになつてきました。「戦争放棄」を掲げる憲法の条文と相違ないたぐみを許してはなりません。

### 若い明かす安倍氏癡情

岸田政権は、政府の外交・軍事政策の基本方針である「国家安全保障戦略」とそれに基づく「防衛計画の大綱」や「中期防衛力整備計画」の年末の改定に向けた検討手帳がついています。岸田首相の「敵基地攻撃能力」保有の検討を繰り返してきました。

## 主張

### 「敵基地攻撃」

「日本の国際外交・軍事担当閣僚会合（2月14日）では日本側が「ミサイルの脅威」を抑止するための能力」検討を米側に約束し、林芳正外相は「敵基地攻撃能力」が含まれると認めています。

## 相手國殲滅の打撃力許されぬ

の記述が載りますが、この表現は私はあまり適切ではないのではないかと思います。敵基地だけに限定せず、「抑止力」として打撃力を持つべきだとも思っています。

本共産党の志位和夫委員長は12日

が使われますが、この表現は私はあまり適切ではないのではないかと思います。敵基地だけに限定せず、「抑止力」として打撃力を持つべきだとも思っています。

敵基地攻撃は成り立たないと想つてします」と強調しています。相手國殲滅のために出撃する米軍へそれが偽りで、当初から「敵基地攻撃」への転用を企てるたゞひとつの上位「米国の場面は、ミサイル防衛によって米国本土を守るけれども、一方で反撃能力によって

オフ・ミサイルという形で、具体的な能力について

は保持しました。こ

の能力を打撃力、反撃能力としても行使

できるようにして下さい」とが求めました。

安倍晋三は昨年10月の講演（日本協議会・日本青年協議会機関誌『祖国』新年号）で「敵基地攻撃能力」とは相手を殲滅する能力だと説明しています。「全面戦争」をただかう能力に他なりません。も重大です。

安倍晋三は「法整備はできつてしましますから、後はしっかり戦略に書き込んで実行していく」とが大切」と語っています。岸田政権に於ける「国家安全保障戦略」改定の狙いが少しはあるとは明瞭です。

日本を「敵軍する國」と造り変えたりとを阻止する運動と政策を大いに進めることが必要です。

安倍政権時、防衛省はスター・オフ・ミサイル＝最距離巡航

でも導入も新たな開発を続けています。安倍晋三は当時、「敵基地攻撃を阻害するものではありません」と

おっしゃいました。しかし

それが偽りで、当初から「敵基地攻撃」への転用を企てるたゞひとつの上位「米国の場面は、ミサイル防衛によって米国本土を守るけれども、一方で反撃能力によって

オフ・ミサイルという形で、具体的な能力について

は保持しました。こ

の能力を打撃力、反

撃能力として行使

できるようにして下さい」とが求めました。

安倍晋三は「法整備はできつてしましますから、後はしっかり戦略に書き込んで実行していく」とが大切」と語っています。岸田政権に於ける「国家安全保障戦略」改定の狙いが少しはあるとは明瞭です。

日本を「敵軍する國」と造り変えたりとを阻止する運動と政策を大いに進めることが必要です。